

[メルディア]

一般財団法人メルディア広報誌

MELDIA



大矢真那による取材

障がい者を応援!

ラ・セーヌドゥ・レーヴ
×大矢真那

布施博による取材 布施博が訊く

エスプールプラス×布施博

中野優希による取材 福祉事業所探訪

社会就労センターぴいす

人気連載エッセイ 障がいのある息子と私

水越けいこの「M size / はじまり」

ミュージカル劇団

WAKU2ミュージカルカンパニー

月刊メルディア
VOL.26
TAKE FREE

MELDIA 2020 FEB. VOL.26

月刊MELDIA VOL.26 2019年12月25日発行(毎月1回25日発行) 第26号 通巻26号
発行所 / 一般財団法人メルディア事務局 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F

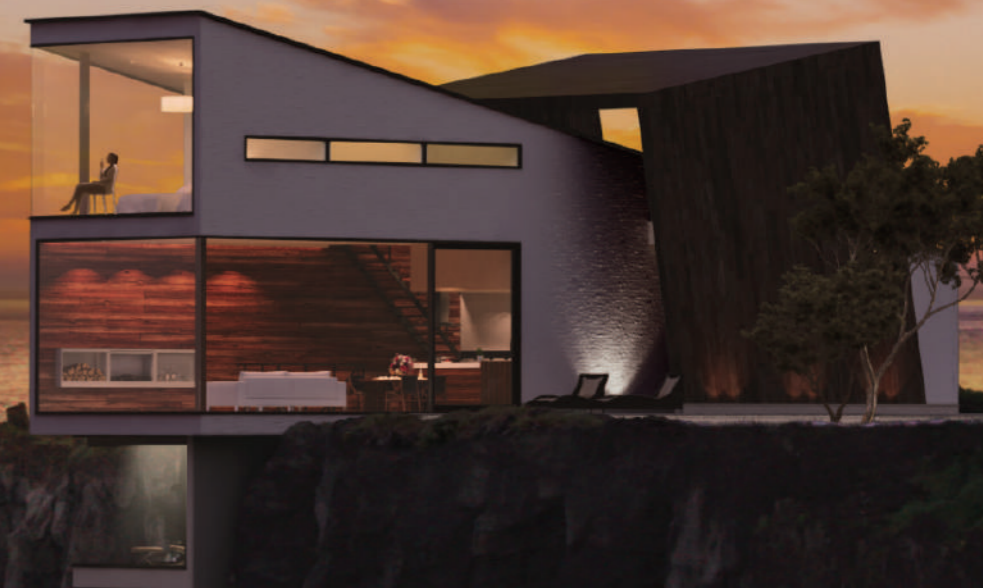
TAKE FREE



Design Your Life

MELDIA
GROUP

同じ家は、つくらない。



メルディアグループ

<http://www.meldiagroup.com/>

株式会社三栄建築設計
〒163-0632
東京都新宿区西新宿1-25-1
新宿センタービル32F

メルディアグループ
公式Instagramアカウント
完成事例公開中!「#メルディアグループ」で検索
@meldia_group



城田優さん出演
TVCM放送中!



就労支援だけでなく「その先」を見据えた支援 技術習得だけでなく社会人としての規範も学ぶ

古くは生糸の生産で栄えた群馬県前橋市。現代においては物流の大動脈となる幹線道路、高速道路、鉄道網が幾重にも敷かれ、郊外には複数の大型工業団地を擁するなど、関東の中核を成す都市になっています。

その中心部にある「前橋こども公園」のすぐ前にあるのが、「ラ・セーヌ ドゥ・レーヴ」です。一見するとおしゃれなカフェにしか見えませんが、実はここ、福祉事業所の支所として運営されているお店です。

福祉事業所がパン屋さんやカフェを運営している例はこれまでも多く取材してきました。

しかし、ここは他とは少し違う考え方に基づいた運営方法をしているといいます。

ラ・セーヌ ドゥ・レーヴ / 群馬県前橋市



ラ・セーヌ ドゥ・レーヴ
(就労継続B型事業所)
群馬県前橋市城東町5-656-15
TEL / 027-289-6828
9:30~18:00 / 定休日:月曜日・火曜日
<http://www.lascene-dureve.jp/>



パンとカフェ、
とれたて野菜の店

open 9:30~18:00
tel. 027-289-6828
月曜日 第4火曜日 定休日

www.lascene-dureve.jp





目指すのは誰もが主役となり 誰もが幸せになれる夢の舞台

大矢 すぐ前に大きな公園があってロケーションは最高ですね。「ラ・セーヌ ドゥ・レーヴ」という店名の由来から教えてください。
中原施設長(以下、施設長) こうして店内から工房の中がガラス越しに見えるようになってほしい。店内を客席、工房を舞台に例えて「誰もが幸せになれる夢の舞台」という意味を持たせて命名しました。
大矢 素敵です。
施設長 障がいのある人たちの誰でもが「主役を演じることができるように」という意味も込めてあるんです。
大矢 みんなが幸せになれる感じですね。正式な事業所の名称としては？



店名の由来の通り、舞台の主役はパンの製造や接客を担う障がいのある人たち。彼らが働いているのをガラス越しに見ることができるように設計されている店内。

施設長 社会福祉法人一越会^{ひとししかい}で運営するワークハウスドリームの支所が「ラ・セーヌ ドゥ・レーヴ」になります。

大矢 開所してどれくらいですか？

施設長 2014年の4月に開所しましたから5年半くらいですか。(※取材/2019年11月)

大矢 障がいのある人たちが担う作業の内容を教えてください。

施設長 パン製造、調理、接客を担当してもらっています。

大矢 取材の前に飲み物を頼んだ時に、運んで来るお盆の上に番号を書いた札が載っているのを見たのですが、あれは何ですか？

施設長 座席数は少ないのですが、それでも運び先を間違わないようにと、料理や飲み物と一緒に座席番号を記した札をお盆の上に載せておくという工夫をしています。

大矢 「座席数が少ない」と言いますが、女子の目から見ると、これくらいの座席数の方が落ち着ける感じで良いなと思います。公園がすぐ目の前であって、店内も広くてきれい。幹線道路がすぐ近くののに静かだし。店の窓から公園とS.L(蒸気機関車)が見えるなんて、他には無いですよ。「都内にもこんなお店があればなあ」と思います(笑)

施設長 公園の前という立地を狙ったわけではないんです。事業所を建てるための土地を探していた時に、たまたまここが空いていたのと、法人

パン製造作業の細分化を図り より多くの就労者数増に挑む

大矢 私、いつもパンを一斤買って、小分けにして冷凍庫で保存して、すぐに食べられるようにしているくらいパンが大好きなんです。パンの話ばかりしていると怒られちゃうので本題に戻しますね。パン製造とカフェの運営を就労支援の事業所として選んだ理由を教えてください。
中原チーフ(以下、チーフ) 自分の話になってしまっんですけれど、小学生の時にパン屋さんで「職業体験」で行ったからパン屋になるのが夢だったんですよ。

施設長 でもね、「息子にも両親と同じ仕事をしたい」という親の「エゴ」で、無理矢理に福祉系の学校に入れたんです。卒業してから一旦は福祉の仕事に就かせたんですが、息子が「どうしても自分はパン屋になりたい」と言っんですから、パン製造を勉強する学校に通うのを許したという経緯がありました。

チーフ パンの製造を学んでから群馬県内のパン屋さんに就職したんです。

大矢 地元では人気のパン屋さんとか。チーフ そうですね。

施設長 ある時に、事業所の定員を増やす必要に迫られたことがありました。新たな施設を作るなら、せつかく息子がパン屋さんで修行しているんだから「パン屋さんを運営してみたらどう

だろうか？」って思ったんです。

大矢 ご両親の希望と、息子さんの夢の両方が叶うことになったわけですね。でも、パンの製造って、いろんな工程があると思うんですけど、障がいのある人たちが全部の工程をこなすのは大変なのではないですか？

チーフ 全部を一人で担うことはできないにしても、作業工程を細かく分けて、障がいのある人たちの個性や特長に合わせて分担してもらえば可能ではないだろうかと考えました。

施設長 作業を細分化して分担制にすると必要な人数が増えてしまいます。でも逆に、より多くの障がいのある人たちに就労の機会を作っ

てあげられることになるだろうと思いました。



フランス産の原料を使用しているものやオリジナルのパンなどが多数。パンが大好きな私にとっては、まるでテーマパークにでもいるような感じでした。



社会福祉法人一越会
ラ・セーヌドゥ・レーヴ
パン製造チーフ

中原 卓也さん
なかはら たくや

社会福祉法人一越会
ワークハウスドリーム
施設長

中原 泉さん
なかはら いずみ

大矢 真那
おおや まさな



一般財団法人メルディア

MELDIA

おかげさまで「一般財団法人メルディア」は設立2周年を迎えることができました。当財団では、障がいのある人を支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童・青少年を支援する活動を通じ、広く社会と人々に貢献するため、これらの事業を行っています。

02 広報誌の発行

障がいのある方と、そのご家族への情報発信を行うため、フリーペーパーの広報誌「月刊メルディア」を毎月発行しています。毎月2万部強を発行し、現在は、首都圏および中京エリアの大型商業施設や大型店舗、特別支援学校、全国の障がい者支援施設等にて無料配布しています。



04 サッカー支援

才能があっても家庭の経済的な事情などで、プロプレイヤーを目指すことをあきらめざるを得ない青少年たちの夢を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。2019年12月現在、選考会を経て選ばれた3名の若者に対する支援を行っています。



01 事業内容

- ① 障がい者及び障がい者を支援する団体等への助成および支援事業
- ② 様々な理由からスポーツ(サッカー等)を続けることができない児童、青少年に対する助成および支援事業
- ③ その他の事業



03 取材活動

広報誌「月刊メルディア」では、障がい者支援事業所、障がい者雇用を推進している企業、スポーツ施設、各種団体、障がいのあるアーティストなどに取材をさせていただき、それらを掲載しています。取材記を当財団のFacebookページにも紹介していますので、是非そちらも併せてご覧ください。



05 サッカー観戦チケットプレゼント

Jリーグのシーズン開催期間中は、「湘南ベルマーレ」のホームゲーム観戦チケットをプレゼントしています。療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人と介添者の人、2名1組(ペア)で試合を観戦できます。※今号ではプレゼントはありません。



障がい者を応援 ラ・セーヌ ドゥ・レーヴ



意志疎通の能力を培うことは円滑な人間関係構築の一助に

大矢 障がいのある人たちが就労する上で留意していることなどありますか？

施設長 仕事を体験することで得られるのは技術や経験だけではありませんよね？ 社会人として遵守しなければならないルールを学ぶことができるのが「仕事」だと思っんです。ですから「挨拶をする」という基本的なことから徹底して指導するように心掛けています。

チーフ 例えば将来、自立して地域の中で暮らすようになったとしても、コミュニケーションって、円滑な人間関係を構築するのに、すごく重要じゃないですか。挨拶に始まって、周囲の人たちと意思疎通が図れるようになって欲しいという考えもあります。

大矢 コミュニケーション能力って、社会人にとって必須のスキルでもんね。

施設長 接客にしても、それを覚えてもらうというよりは、コミュニケーション能力を向上させるための訓練の一環だと捉えています。

大矢 最後になりましたが、これからの展望を聞かせてください。

施設長 将来的には、障がいのある人たちがパンの製造を習得できる学校を作りたいです。そこで彼らを街のパン屋さんにも勤めることができる「パン職人」にまで育てたいですね。

取材後記

「社会に貢献できる仕事を創出したい」と語る施設長と、「自立自活のために社会性を向上させたい」と語るチーフ。

それぞれの言葉は違いますが、二人が目指す先は「価値を認められる人になって欲しい」という同じベクトル上にあるのだろうと感じました。

さらに、いずれは社会的な自立を迎える将来を見据えて就労計画と運営計画を練る二人の言葉には、「親子」という以上に熱い思いを共有している「同志」であると思えました。

取材の後、パンを買って帰りました。「パンが大好き」という私の加点分を差し引いても、お世辞抜きに「美味しかった」ことを報告して今回の取材後記にしたいと思います。

取材/大矢真那



社会福祉法人一越会
ワークハウズドリーム
群馬県前橋市城東町3-15-26
TEL / 027-260-6888
http://www.hitokoshi.org/



※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

ALL ABOUT MELDIA

メルディアとは、「メダル」を意味する英語の「MEDAL(メダル)」とイタリア語の「MEDAGLIA(メダリア)」を合わせた造語となっており、終の棲家を手に入れる喜びを「栄光に輝くメダルを手に入れるような喜び」に見立てています。

誰しも人生は一度しかないものです。

その、一度限りの人生の夢の実現を、メルディアグループの住宅をお求めになるお客様と同じように、障がいのある人、経済的に恵まれない人、多様性のある多くの人たちの人生においても、「夢」を実現していただくための一助となれることを目標に、これからも当財団の社会貢献事業を進めて参ります。

財団概要

名称 一般財団法人メルディア
(英文名: General Foundational Juridical Person MELDIA)
設立者 小池信三
設立日 2017年5月23日

所在地 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 32F
電話 03-5381-3213
URL https://meldia.org/
MAIL org@gf-meldia.com



MELDIA <https://meldia.org/>



facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>





**農作業と障がい者の親和性
障がい者雇用率達成も支援**
布施 なぜ障がいのある人を支援する企業になっただけですか？
和田 私たちエスプールグループでは、雇用機会に恵まれない人たちのために「雇用を作っていく」というビジネスを約20年前からやっています。過去にシニアやシングルマザー、引きこもりの人たちの雇用や就労を支援する中で、障がい、特に知的障がいのある人の就職率が著しく



布施博が訊く

エスプールプラス×布施博
東京都千代田区



低い事を知ったんです。これは何か障がいのある人をサポートする事業を作った方が良いのではないかと、と思い、リサーチを始めた所からスタートしました。
布施 当時、知的障がいのある人たちの支援する企業はあまり多くはなかったんですか？
和田 はい。それで私たちは「知的障がいのある人の雇用をどんどん進めていこう」という方針を決めて、彼らに親和性のあるビジネスとは何なのかという事を調べました。その中で、農業と障がいのある人の親和性が高いという事が分かったんです。でも実際にそれを実践している企業はまだありませんでした。私たちはそこにチャレンジしてみようと思いい2010年にこの障がい者支援事業をスタートしました。
布施 なるほど。エスプールプラスさんの障がい者支援事業の特徴を教えてください。
和田 障がいのある人たちの特性に合わせて仕様を整えた「わーくはびねす農園」という農場を企業向けに貸すという事業を行っています。現在



障がいのある人たちの雇用率達成を努力目標として企業に課す法(※)の施行以降、雇用率の上昇が見られる。しかし、現状では目標を達成できていない企業も少なくないようだ。「ソーシャル・ファーム(ソーシャル・エンタープライズ)」という考えの下、雇用機会に恵まれない人たちのために、仕事を生み出し、支援付き雇用機会を提供することに焦点を当てたビジネスモデルが注目を浴びている。
「働きたい」人と「雇用したい」企業とを繋いで、就労数と雇用率の上昇を図るための新しいビジネスモデルを展開している会社がある。それが株式会社エスプールプラスだ。同社で社長・和田一紀さんに布施博が訊いた。

「働きたい」側と「雇用したい」側の
両者の希望を叶える
障がいのある人たちと企業とを繋ぐ
独自のアイデアとは？

は全国に18ヶ所あって、そのうちの5ヶ所が行政と連携して農園を運営しています。
布施 その農園で障がいのある人たちが働くことができて、企業の障がい者雇用率も上がるといふ訳か。その仕組みをよく考えたなあ、と。
和田 日本でこれをやっているのは当社くらいですね。企業に課せられた障がいのある人の法定雇用率は従業員数の2・2%なので、従業員数の多い企業などでは、より多く雇用しなければなりません。そうなった時に、企業は障がいのある人にどんな仕事をしてもらえば良いのか、どこで出会ったら良いのか、というのを提案できると思います。



株式会社エスプールプラス
社長/執行役員
和田 一紀さん
わだ かずのり



※障害者雇用促進法(障害者の雇用と促進等に関する法律)



YouTube
 わーくはびねず農園PRムービー
 「JOBに、JOYを。」
<https://youtu.be/00DeGrMBMz5>



企業が掲げる「健康経営」を障がい者雇用の手掛かりへと

布施 農園で作られた作物はどのように活用されているんですか？
 和田 基本的には農園を借りた企業の福利厚生の一環として従業員に配られる事が多いです。
 布施 福利厚生で野菜が貰えるとなったら歓迎する従業員も多いでしょう。
 和田 とても喜ばれていますね。私たちエスプールのグループ各社でも福利厚生としてこれを取り入れていて、本社に定期的に野菜が送られてくるのですが、たくさんあった野菜が一瞬でなくなる事が多いですね。

布施 博
 ふせひろし



布施 最近男女を問わず自分で料理する若い人たちが多いもんね。
 和田 現在、多くの企業では従業員の健康意識を上げて生産性の向上を図るといって「健康経営」という理念が普及してきていて、その辺りにもマッチしているようなんです。
 布施 なるほどね。それに、障がいのある人たちが作る野菜が従業員に配られるという事で、障がいのある人たちが身近に感じることができるとも思えないし、障がい者支援の一翼を担っている気になれるかもしれないよね。
 和田 正にそうなんです。食材という身近なものに触れることから入り、「これは誰がどのように生産したものなのか」というのを知る。それで障がいのある人たちが対する理解が深まることもあるのではないかと思います。
 布施 「生産した人が分かる」というのは安心にも繋がるよね。
 和田 野菜の生産に携わる障がいのある人たちに向けて、エスプールのグループ会社の社内から「いつもありがとう」という内容の手紙と共に、「次はこんな野菜(作物)を作ってください」というリンクを送ることもあります。そういった交流のキャッチボールからコミュニケーションが生まれているようにも感じます。



布施 それは良いことだね。
 和田 「障がい」に対する理解を広げるといって点では良い傾向にあると思います。
 布施 障がいのある人たちが支援する事業というのは、時には大変な事もあるかと思うけど？
 和田 そうですね。時には問題が起きることもあります。でも、問題よりも良い事の方がはるかに多くあるので、私たちとしてもそれをやりがいを感じる部分ですね。
 布施 何かエピソードなどはありますか？
 和田 農園の作業体験に応募してきた女性がいきました。体験後に「どうしてもこの仕事がいい」ということで、彼女の希望を叶える形で入社してもらいました。彼女は初任給が出た時に農園のスタッフ全員にお菓子を買って配っていたのを見た

んです。「どうして？」と理由を聞いたら、「皆に感謝の気持ちしかないから」と言っていたのがとても印象的でした。
 布施 心が温まるような良い話だねえ。
 和田 障がいのある人たちは純粋で素直な人たちが多くいるからそのエピソードだと思います。
 布施 現在の課題は何がありますか？
 和田 私たちが提供している事業の内容を今では多くの企業関係者には知ってもらっています。障がいのある人たちにはまだあまり知られていないんです。当社は障がいのある人たちがいてこそ会社であるので、彼らに当社の事業が今より知られていくように努力しないとならないと思います。
 布施 情報の拡散となると、やっぱりメディアの力を使うのがいいのかなあ？
 和田 そうですね。今回のように媒体の取材を受けるのもその一環と考えます。あとは、多くの人たちに私たちの事業を知って貰えるようにと、パラリンピックの出場候補のアスリートを雇用したりもしています。
 布施 今後の展望を聞かせてください。
 和田 これからも障がいのある人たちに向けた就労の機会を増やしていきたいと思えます。それが私たちの使命であって、事業を継続していく意味なのかなとも思っています。今後も一人でも多くの障がいのある人たちの手助けをしていきたいと思えます。

取材後記

障がいのある人たちの就労と企業における雇用の現状について、これまでも多くの場所で話しを聞いてきた。
 働いて生活の糧を得て、ひとりの人間として自立した生活を送るという普通の暮らし。だが、障がいのある人たちがそれを享受するには未だ厳しい現実が横たわっていると感じる。障がいのある人たちの自立を支援するエスプールプラスのような事業を展開している企業はまだ少ないのが現状だ。
 「就労を希望する人」と「雇用をしたい企業」とを農業で結び付けるといふ手法は、必要とする者同士を繋ぐことで相互の幸福度向上に寄与することになることだろう。

取材／布施博



株式会社エスプールプラス
 東京都千代田区神田須田町1-25
 JR神田万世ビル17階
 TEL / 03-6859-6555
<https://plus.spool.co.jp/>



※編注／記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。





中野 優希
なかの ゆうき

憩いの場の再興を目指すため 福祉事業所の運営実績を活用

中野 なぜ、大学の中で学食、カフェ、購買を運営するようになったのか、その経緯から聞かせてください。

鬼形 私たちが運営を受託する前、いくつかの業者が運営を行っていたようですが、いずれも「採算が取れない」という理由で2〜3年で撤退してしまっただけです。ある時に「学食が無くなって困っている」という情報を得て、「私たちの法人が持っている実績を活かして学食の運営ができないだろうか？」と考えました。それを大学側に申し出て、運営委託を検討してもらったことになりました。



理解への第一歩は挨拶を交わすことから始まる 大学内での就労により 得られる利点とは何か？

社会福祉法人すてっぷ 社会就労センターぴいす 群馬県前橋市

中野 優希の
「ユウキを出して
聞いてみた」

中野 学食が無いと学生は困りますね。

本間 新年度が始まったばかりの4月・5月に学食が無いという状況がありました。

中野 学食やカフェなんかで友だちと過ごすっていう時間も学生生活の楽しみの一つだと思うんですが、それが無いと寂しい気がします。

本間 そうですね。大学に学食が無いというのは学生に対して申し訳ない。「どうにかしないと」を考えていました。

新井 私たちが運営に携わる前は学食と購買とで違う業者が入っていて、双方が競合して学生を取り合ってしまう状況があったそうです。大学側には「学食と購買を同じ業者に委託するのが好ましい」という意向がありました。それならば両方とも私たちの法人に運営させて欲しいという希望を出しました。

中野 他の業者が撤退した理由の一つに「夏休みなどの長期のお休みがあるから採算が取れない」というのが挙げられていると聞きましたが、それでも敢えて手を挙げたのはなぜですか？

鬼形 障がい福祉サービス事業所としてこれまで培ってきた実績と経験があるので、それを活かせば可能ではないかという判断です。

新井 何か手立てを講じないと同じ轍を踏むことになりそうです。そこで、「大学施設内の清掃作業も受託できないでしょうか」と打診して、入札業者に指名してもらい、2007年から私たちが請けることになりました。

理解と認知の一助になればと 勇気を振り絞って取材に出発

障がいのある人たちの支援を目的として、彼らの就労機会を創出するために運営されている飲食店が全国には多くあるといえます。

「店舗」とは一線を画しますが、とある大学の中で学食と購買などの運営をしている福祉事業所があると聞いて取材に伺いました。

ご挨拶が遅れました。女優を目指している中野優希です。予めお断わりしておきますが「障がい」についての知識を持ち合わせていません。現在、「障がい」についてを鋭意勉強中です。

冒頭の文章が伝聞・推量表現になっているのは「中野の知見が乏しい」という理由で編集部から押し込まれた知識で書いているからです。

月刊MELODIAは障がいの専門誌ではなく、「障がい」に対する社会の認知と理解を広げるために発刊されていると聞きました。

私が取材で知り得た知識や情報を分かりやすく伝えていくことで、私と同じように今までに「障がい」のことを知らなかった人たち、「障がいのある人たち」と関わって来なかった人たちが、それらを理解するための第一歩に繋がればと良いなと考えています。

人見知りの私が初対面の人たちにお話を伺うには、かなりの思い切りが必要です。でも、勇気を出して聞いてみることにしました。



社会福祉法人すてっぷ
総務部長
新井 亘さん
あらいわたる

相互に挨拶を交わすだけでも 良好な人間関係を育む要因に

中野 双方の利害が一致して学生たちの憩いの場が再興されたわけですが、運営開始となったのはいつですか？

鬼形 大学側と業務提携を交わし、学食の運営委託を請けたのが2005年6月です。

中野 現在の利用者※と職員の人数をそれぞれ教えてください。

鬼形 事業所の利用定員は20人ですが、群馬県立女子大学で働いている利用者は17人、支援している職員は10人です。

中野 利用者の仕事内容は何かですか？

※編注／福祉事業所では施設を利用する障がいのある人たちを「利用者」と呼びます



生がいたので、「障がい」についてを特に意識はしませんでした。

中野 彼らの働きぶりを見てどう思いますか？

島田 暑い日でも寒い日でも、天候を厭わずにいつも学内をきれいに掃除してもらっていたり、片付けてもらっているのを目にすることが多くて、感謝しかないですね。それに、障がいのある人たちの方から進んで挨拶をしてくれることが多くて、それもすごく心地良いです。

中野 挨拶を交わすことが「心地良い」って言えるのは良い関係が構築できている証拠ですね。

鬼形 彼らは真摯に仕事と向き合っているだけなんですけど、それに対して学生さんたちから温かい言葉や励ましの言葉が彼らに返ってくる。すごく良い循環が出来ているんですね。これを維持できるように皆で努力を続けていきたいと思えますね。



私とほぼ同学年となる大学3年生の島田さんは「すれ違いと必ず元気に挨拶してくれるので、こちらからも元気に挨拶を返すようにしている」と話す。



公立大学法人
群馬県立女子大学
群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1
TEL / 0270-65-8511
https://www.gpwu.ac.jp/



取材 / 中野優希

取材後記

「障がい」に関する知識のカケラも無い状態で挑んだ初取材。皆さんの口から飛び交う専門用語を同行の編集者に逐一「翻訳」してもらう場面もありました。

取材が進んでいくにつれ、知的好奇心が頭をもたげ、聞きたいこと、知りたいことなどが次々に湧き出して来るという感覚を味わうこともできた取材でした。

概念としては知っていた「障がい」や「障がいのある人たち」のこと。いざ正面から向かい合ってみると、私の知らなかったことがいかに多かったのかを知ることもできました。

自分の言葉で「障がい」を語れるようになるうと思えた取材になりました。

※編注 / 記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。



公立大学法人
群馬県立女子大学
事務局 補佐 (会計図書係長)
本間 淑子さん
ほんま よしこ

社会福祉法人すてっぷ
就労継続支援事業B型事業所
社会就労センターぴいす 施設長
鬼形 朋宏さん
おにかた ともひろ

鬼形 大学内での作業として、学食の調理補助、購買とカフェのレジや品出し、学内の清掃を担当してもらっています。

中野 障がい福祉サービス事業所側としては障がいのある人たちが働くことについて、彼らにどんな利点があると考えますか？

鬼形 ここ(大学内)で働くことで、学生さんたちなど多くの人たちに触れることや、声を掛けてもらったりという経験が非常に重要だと考えます。例えば、自身がした挨拶に対して相手がそれに応えてくれるというだけでも自信に繋がるように、それが彼らのモチベーションを上げることにもなっているのではないかと思います。

中野 障がいのある人たちが働いていることで大学側にとっての利点は何ですか？

本間 学生たちの生活圏内だと障がいのある人たちと出会う機会って意外に少ないと思うんですね。日常的に障がいのある人たちが学内にいるということ、「障がい」に対する抵抗が減っていくのではないかと感じます。

中野 確かにそうですね。

本間 大学側としては、「障がいのある人たちの団体だから」ということで運営を委託しているわけではなく、あくまでも「運営を委託している業者がたまたま障がいのある人たちの団体だっ



就労継続支援B型事業所(※)
社会就労センターぴいす
群馬県前橋市広瀬町3-7-15
TEL / 027-290-6161 (法人本部)
https://s-step.com/?cat=17



た」というスタンスなんです。大学側のスタンスが学生にも影響を与えているのではないかなと思いますね。

中野 良い傾向だと思います。

本間 学生の中からは、「大学の外で障がいのある人を見掛けても横えなくなった」という意見もありました。そういう意味では「ノーマライゼーション」というか「多様性を容認して皆で一緒に生きていく」という意識の構築には役立っているのかもしれないですね。

中野 学生さんたちは大学内に障がいのある人たちがいるのをどう思っていますか？

島田 入学するまでは、障がいのある人たちが大学内で働いているのを知りませんでした。

中野 最初に知った時はどう思いました？

島田 幼稚園から中学校まで障がいのある同級

※編注 / 就労継続支援事業B型事業所(障がいがあることで一般就労をすることが難しい人たちが、必要な支援を受けて働く訓練を行う事業所)



はじまり

△水越けいこ連載▽

26



シンガーソングライター
水越 けいこ

1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を続けている。

特性から得た素晴らしい能力 人を思うことは人を敬うこと

息子・麗良(れいら)には「一度好きになった人はずっと長く思い続けていられる」という能力があるようです。

人として好きになった相手のことを記憶の中に長く留めておくことができる力。それを私は「羨ましい」と感じることがあります。

あくまでも個人的な意見ですが、ダウン症の人たちの中には同じような能力を持っている人たちが多く感じます。一瞬だけ見た光景を細かなディテールに至るまで鮮明に記憶している人もいます。息子もそんな能力を持っているうちの一人なのかもしれません。

どんなきっかけで記憶が蘇るのかは定かではありませんが、これまでの息子の人生の中で出

会ってきた多くの人たちのことを、ふとしたタイミングで話し始めることがよくあります。

それは、私と一緒に食事をしている時、車や電車での移動中、音楽を聴いている時など実に様々なタイミングです。

場所や時間から始まって、その時に関わった人たちの会話内容、天候などのシチュエーションまでを含めて話す息子。その語り口によって「確かにそんなことがあったなあ」と私自身が思い出すことがよくあります。

その後を決まって「〇〇さんのこと好きだよ」「〇〇さんに会いたいな」と息子は続けます。私は「そうだね、ママも〇〇さんに会いたいな」と答えますが、その相手が遠くに住んでいる人であったり、なかなかお互いの都合が合わなかったりなどで、現実的には息子の希望通りには再会が叶わない場合もあります。

心の成長も写す一枚の写真は 情景を呼び覚ます「はじまり」

「写真だなんて古い言い方ではなくて今では「画像」というのが正しい言い方なのでしょけれど、現代ではスマートフォンなどを利用して誰でも簡単に写真を撮ることができるようになりました。

昔だとカメラで撮影したフィルムを写真屋さんに持ち込んで、現像して印画紙に焼き付けてもらうという作業が必要でした。日数が掛かることもあり、現像に出して写真が出来上がってくるまで「どんな風に写っているのか分からない」という楽しみもありましたね。

写真って、見るだけで撮った時の記憶を辿るこ

とができます。また、画角の中には写らなかった事象を思い出すことも出来るなど、たった一枚の写真から何通りもの楽しみ方ができます。

先日、スマートフォンの写真データを整理する機会がありました。フォルダの中は私が撮った写真が大半ですが、友人や知人、スタッフが撮ってくれたものも多くありました。

フォルダの整理をしながら写真を一枚一枚見返してみました。昨年の映画撮影で長く東京を離れている時に友人たちが息子の様子を撮影して送ってくれたものが何点もありました。

その中に、息子がベッドにうつ伏せになって寝ている様子を写したものがありません。部屋の中は明るく、おそらくベッドに横たわって音楽を聴いているうちに昼寝をしてしまったのだろうと想像できました。

日付を確認すると、私が映画の撮影で都内を数日離れていた頃。この写真を見て「母がいなくても何事もなく無事に過ごせるようになったのだなあ」と成長した息子の姿を誇らしく感じたことを思い出しました。

帰宅してから、私が不在の間に息子の面倒を見てくれた友人とスタッフとが、映画撮影の打ち上げの席を設けてくれました。留守中の出来事の報告を受けるうちに、先のベッドで昼寝をして息子の写真の話になりました。

人の印象は、その時の自身の心境置かれて

るシーン、周囲のシチュエーションなどに左右されるといいます。また、その後を受けた良くない記憶によって印象が変わってしまうこともあって、その人を嫌いになってしまったり場合もあります。つまり、私たちの記憶というのは自身の主観や経験に左右されて時間の経過と共に変わっていつてしまつという、実に曖昧なものであるのだと思います。

しかし、息子は違います。一度好きになった人のことは何があっても、時間が経ったとしても「好きのままにいます」ことができます。

人を思い出し、人を敬い、人を長く好きでいられる力。それを羨ましく感じますし、とても尊い能力であると思います。きっと、その能力を私に見せることで、息子なりの人生訓を私に授けてくれているのだろつと思えます。

私が「ママがいけない間のお昼寝、気持ち良かったでしょ？」と冷やかに気味に訪ねると、息子は困つたような悲しい表情を浮かべました。友人が「ママがいけない間、よく眠れない日もあって、だから昼間に眠くなったんだよね」と言つのに合わせて大きく頷く息子。

これまでに私が不在の時でも息子は「寂しい」と決して口にすることがないといっています。私に心配を掛けたくないという気持ちからそうしていたのかと気付いた瞬間でもありました。

たった一枚の写真からでも、その時の情景や記憶などを蘇らせることが出来るのが写真の利点。これからも一枚でも多くの写真を撮り溜めていきたいと思えます。

Information

水越けいこライブ情報

WEBで「水越けいこ」と検索してください
または水越けいこブログから
<https://ameblo.jp/keiko-mizukoshi/>



水越けいこ出演映画情報

「ラストレター」
岩井俊二監督最新作
2020年1月17日より全国東宝系ロードショー
<https://www.last-letter-movie.jp/>



大橋 まず、ここで障がいのある人たちにミュージカルを教えるようになった経緯を聞かせてください。

椎名 約20年前に、現在の「WAKU2ミュージカルカンパニー」の母体となる「地域で生きる子どもたちの会」が立ち上げられました。障がいのある子どもたちを、保護者だけではなく地域の皆で育てて行こう、支援して行こうという想いを主旨として立ち上げた会で、その活動の中の一つにミュージカルがあったんです。

プロらがスタッフとして参加
とにかく「楽しい」理由とは



大橋 たまたまご縁があつて参加してみたんですが、その活動内容を見るにつけ「これは続けたい」と思ってたんです。それで、「WAKU2が楽しいから来て」と舞台仲間を誘ってごっそりと連れてきた感じですよ(笑)

史桜 私も誘われて参加したうちの一人です。

大橋 この会に惹き

大橋 ミュージカルをやる団体として会を立ち上げたという訳ではなかったんですね。

椎名 そうなんです。最初はダンスをやってみたり、歌をやってみたりという活動をしていたのですが、それを全部まとめて発表出来る場所はないかな？ と考えた結果、ミュージカルに辿り着きました。

大橋 なるほど。ミュージカルを教える先生などのあてはあったんですか？

椎名 最初は誰もいませんでした。「歌とダンスの先生はそれぞれいるけれど、ミュージカルを教える人がいないね」という時に、ちょうど今泉さんが入ってくれたんです。

今泉 たまたまご縁があつて参加してみたんですが、その活動内容を見るにつけ「これは続けたい」と思ってたんです。それで、「WAKU2が楽しいから来て」と舞台仲間を誘ってごっそりと連れてきた感じですよ(笑)

史桜 私も誘われて参加したうちの一人です。

大橋 この会に惹き



WAKU2ミュージカルカンパニー
椎名 みゆきさん
しいな

つけられた魅力というのはどの辺りにあったと思いますか？

今泉 人の尊さでしょうか。障がいのある彼らの生き方や輝きにとっても感銘を受けて、何か私たちで手伝える事があれば、と思いました。

史桜 そういう部分で皆の意見が一致して、今に至ります。スタッフとしては私が一番新しいメンバーですが、もう10年以上ここでミュージカルを教えているんですよ。



輝く個性で人々を惹きつける
障がい者のチカラ



「障がいがある子どもない子も一緒にミュージカルを」という一人の母親からの呼びかけから「地域で生きること」も私たちの会「WAKU2キッズミュージカル」の活動が始まりました。2015年には、名称を「WAKU2ミュージカルカンパニー」に改め、定期的にミュージカル公演を行っているといえます。

メンバー全員が同じように活躍出来るようにと、敢えて主役を作らない事にこだわったオリジナルのミュージカルは、その活動の趣旨に賛同した様々な分野のプロたちの協力のもと作られているそう。

プロの心をも惹きつける鍵はどこにあるのか。「WAKU2ミュージカルカンパニー」の代表・椎名みゆきさん、スタッフ・今泉りえさん、史桜(しお)さん取材しました。

取材・文／大橋はるか



ヴォイストレーナー
史桜さん
しお

大橋 ここではスタッフ同士やメンバー同士で呼び合う時に、「ちゃん・くん」を付けて呼んでいると聞いています。
史桜 皆が「友だち」として接しているのです。スタッフの事を「先生」とは呼ばせません。
大橋 初めてお会いした私のことも「はるかちゃん」と呼んでもらって、なんだかとても親しみやすくて嬉しく思いました。
今泉 私たちスタッフは指導者というより、「一緒にミュージカルを作る仲間」というような感じですね。私が練習中に失敗したりすると、皆に「リ

“人と人”として接する事が大切 フラットな人間関係の重要性

大橋 障がいのある人たちに指導をする際に気を付けている事などはありますか？
史桜 彼らはとても感受性が高いので、例えば私たちが疲れている時にそれを敏感に感じ取ってしまう事があります。だから彼らの前ではいつも元気でいることを心掛けています。それと、障がいのあるなしは関係なく、“人と人”として接することを心掛けていますね。
今泉 そこは一番大切にされていて、スタッフ皆で共有している部分です。
史桜 彼らが人として素敵であれば、「今は良

綿密なミーティングを行い 保護者との信頼関係も構築

ヴォイストレーナー
ミュージカル女優
今泉 りえさん
いまいずみ



椎名 私の娘もここで稽古を受けているので、いつも綿密な話し合いをしていただけるのは親としてもとても安心感があります。スタッフの皆さんは障がいの専門家ではありませんが、皆さんの見を聞いたりしながら話し合いをしています。
大橋 スタッフ同士でミーティングをされるんですか？
史桜 スタッフと保護者を交えてやります。分からない事があると保護者の意見を聞いたりしながら話し合いをしています。
大橋 スタッフ同士でミーティングをされるんですか？
史桜 スタッフと保護者を交えてやります。分からない事があると保護者の意見を聞いたりしながら話し合いをしています。



ではないからこそ、逆に良い場面も多くあるんですよ。
大橋 専門家ではない人だからこそ、違う角度からのアプローチが出来るのかも知れませんね。
今泉 彼らは私たちスタッフに対して全力でぶつかってくるんです。幸いなことに、彼らと長く接しているのでも、皆それぞれの性格や特性もなんとなく分かってくるので、年齢を重ねる事で障がいの度合いの変化も目の当たりに感じつつやっています。
大橋 最後は、今後の展望などがあつたら聞かせてください。
椎名 理想は、出来るだけ長くこの会が続く事です。歳を重ねることでメンバーの身体にも様々な変化が現れて来て、段々と出来ることの範囲が狭まってしまふ傾向にあるんです。だから、いつまで同じメンバーでミュージカルの稽古や発表会を続けられるかなと思うこともありますが、でも彼らは発表会が大好きなので、これからも発表の場は作っていきたいし、皆の生きがいであるこの会が一日でも長く続いて欲しいと願っています。

えちゃん、大丈夫？」「ダメだよ」と言われたりもします(笑)
史桜 りえちゃん(今泉さん)が「ごめん、ごめん、りえちゃんのせいだよ」と返すと、皆も「いいよ大丈夫だよ」とそんな日もあるよ」と言ってくれる事も多いんですよ。
大橋 すごい！ それは嬉しいですね。
史桜 「教える」ということは体力と気力を使うので疲れることもあるんですが、声を掛けてもらえることがたくさんあるの、パワーを貰えます。
今泉 私はここで皆とミュージカルを作り上げるこの意味をとっても大きく感じていて、だからこそずっと続いていますし、他のスタッフも同様に感じてくれています。気付いたら、ここに携わるようになって20年くらい経ってしまった

という感じですね。
大橋 最後に、今後の展望などがあつたら聞かせてください。
椎名 理想は、出来るだけ長くこの会が続く事です。歳を重ねることでメンバーの身体にも様々な変化が現れて来て、段々と出来ることの範囲が狭まってしまふ傾向にあるんです。だから、いつまで同じメンバーでミュージカルの稽古や発表会を続けられるかなと思うこともありますが、でも彼らは発表会が大好きなので、これからも発表の場は作っていきたいし、皆の生きがいであるこの会が一日でも長く続いて欲しいと願っています。



※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

つむぐ

〜こえをきく〜

「障がいのある人たちの表現の魅力とは一体なんなのだろうか」
私が本誌で取材をするようになって以来、常にこの疑問に対する自分なりの答えを追い求めてきました。

今回の「つむぐ」では、前ページでも紹介した「WAKU2ミュージカルカンパニー」で障がいのある子どもたちに指導をする史桜さんにお話を伺いました。

対談前に「WAKU2ミュージカルカンパニー」の稽古を見学させて貰いました。稽古場は活気と笑顔で溢れていて、その場にいる全員が作り出した大きな感情の波が私の身体にぶつかって来るかのようでした。気が付けば、自然と笑顔になっていた私がいました。

元・有名劇団員が考える表現 心を揺さぶる笑顔の源泉とは



渡邊 劇団四季の劇団員として活躍されていた史桜さんにとつての、「表現」という概念についてをまずお聞きしたいと思います。

史桜 すごく難しい質問ですね(笑) 一つ言えるのは「本来は自由なもの」ということだと思えます。表現とは自分の感情や思考を周囲に伝えるためのものだと思いますから。

渡邊 「本来は」と敢えて付け加えたのは？

史桜 例えば現代ではある人が嬉しいと感じた

としても、その場で踊って嬉しさを表現するわけにはいかないでしょう？ 「自由な表現」が望まれないことが多い社会だなと思っています。

渡邊 なるほど。それとは反対に、先ほど見せて貰った稽古は「自由な表現」という言葉が良く似合う気がします。

史桜 社会のしがらみに縛られずに表現できるメンバーが比較的多いかもしれませんね。一般的には感性って年齢を重ねるごとに衰えてしまっ



史桜(しお)さんアムブロ/
<https://ameblo.jp/saitodesu0314/>



ヴォイストレーナー
史桜さん
しお

と個人的には思います。

渡邊 「人に対する感性」ですか？

史桜 説明が難しいですが、うちのメンバーは私が元・舞台女優であるとか、立場がスツッフであるとか、そういうのは一切関係ないという人が少なくないんです。肩書などは通用しないんですよ。一方で、私が肉体的に疲れていたりすると彼らはすぐに見抜いて、指摘したり心配してくれたりするんです。感受性の高い人が多いなあと思う

ことがありますね。

渡邊 感受性が高いがゆえに周囲の人たちの状況にも敏感である。

史桜 それって、ある意味では相手をリススペクトしているからこそこだと思いませんか？

渡邊 確かに！ 真の意味で相手を人として見ているからだとも言えますね。

史桜 だから私も、立場であるとか、障がいがある・ないとかは一切関係なく、人としてリススペクトする気持ちを持って彼らと向き合うようになりました。時には、表面だけ取り繕って喋っても、その場ですぐに見抜かれちゃうことが多いので、本音でぶつかっていくしかない！ っていうだ

けなんですけどね。

渡邊 お互いの存在を認め合った人たち同士が力を合わせてミュージカルを作り上げることができれば、それはきっと魅力的なものに仕上がることだろうと思います。

史桜 凄いエネルギーですよ。舞台本番ともなれば彼らはものすごく楽しそうに笑って、とても気持ち良さそうに歌っています。

渡邊 それは稽古の様子からも感じました。

史桜 終演後にはお客さんの反応を感じて彼らはさらに笑顔になります。それは人に認めて貰ったからであるのと同時に、彼らが自分自身を認めた瞬間でもあるのかなあと思ったことがありますね。

渡邊 「自分自身を認める」って素敵ですね。

史桜 私たち指導員はその笑顔を見ていつも泣いてしまいます。「彼らの表現には、パワーがある」と言わざるを得ません。



取材・文
渡邊 希望
俳優・脚本家・演出家

1988年神奈川県生まれ。大学時代に現代小説を専攻。2015年に「劇団ショートホープ」を立ち上げる。俳優・脚本家だけでなく、演出家としても活躍し、音響も手掛けるなど、多岐に渡って才能を発揮する。ハイペースで脚本&演出をこなす。その舞台はいずれも好評と人気を博している。

※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。



シリーズ 弁護士が教える「障がい者と法律」

障がい者と家族の法律問題

相続法改正の要点⑤
遺言書保管制度Q&A

遺言書保管制度がスタート 制度の利用方法を知っておく

前回(25号)の記事では、2020年7月から新たにスタートする「遺言書保管制度」について簡単に紹介しました。遺言書保管制度とは、遺言書を公的機関が保管することにより、遺言者が亡くなった後に遺言書が発見されないという事態を防ぐための制度です。

今回は、遺言書保管制度の仕組みをもっと詳しくQ&A方式で解説していきます。

Q 遺言書の保管の申請はどこで行えば良いのですか？

A 遺言書の保管は、「全国の法務局のうち法

務大臣の指定する法務局が行うこと」とされています。

指定された法務局を遺言書保管所といいます。遺言書保管所として指定される法務局は、利用者の利便性を考慮した上で今後決定される予定になっています。

遺言書の保管の申請については、遺言書保管所のうち、遺言者の住所地もしくは本籍地または遺言者の所有する不動産の所在地を管轄する遺言書保管所に対してしなければなりません。

また、遺言者の作成した他の遺言書が遺言書保管所に保管されている場合には、新たな遺言書の保管の申請は、先に保管の申請をした遺言書が保管されている遺言書保管所に対してしなければなりません。

また、遺言者の作成した他の遺言書が遺言書保管所に保管されている場合には、新たな遺言書の保管の申請は、先に保管の申請をした遺言書が保管されている遺言書保管所に対してしなければなりません。



Q 保管の申請をすることができる遺言書はどのようなものですか？

A 遺言を作成する代表的な方式として、「自筆証書遺言」と「公正証書遺言」があります。このうち、保管の申請をすることができるのは、「自筆証書遺言」です。自筆証書遺言は、遺言者が全文を自署して作成するもので、保管する方法に決まりはありません。公正証書遺言は、公証人が作成・保管するため、遺言書保管制度を利用する必要がありません。

また、遺言書は、法務省令に定める様式に従って作成した封をしていない状態のものでなければなりません。



どうやって発見するの？ 遺言書保管制度の仕組み

Q 遺言書はどのように保管されますか？

A 遺言書保管所は、遺言書の原本を保管すると共に、その画像情報を電磁的に記録することにより遺言書の内容を情報としても保管することになります。

Q 遺言者の相続人は、遺言書保管所に遺言書が保管されていることをどのようにして知ることができるのですか？

A まず、遺言書保管所は、遺言書を保管する際に、遺言者に対し、保管を証する書面を交付します。そのため、相続人は、この書面を発見することにより遺言書の存在を知ることができます。

次に、遺言者が亡くなった後は、遺言書保管所に対し、遺言書保管所における遺言書の保管の有無を明らかにした証明書(遺言書保管事実証明書)の交付を請求することができます。この証明書は、あくまで保管の有無を明らかにするものですので、遺言書の内容までは分かりません。また、この証明書の請求は誰でもできますが、遺言書保管所に遺言書が保管されている旨の証明書が交付されるのは、遺言者として特定された人が作成した遺言書が保管されており、かつ、その遺言書

が請求した人にとって関係がある場合のみです。保管されていない場合や、請求した人と関係がない場合は、遺言書が保管されていない旨の証明書が交付されます。

さらに、遺言者が亡くなった後は、相続人は、遺言書保管所に対し、保管されている遺言書の画像情報を用いた証明書(遺言書情報証明書)の交付を請求することができます。遺言書の閲覧を請求することもできます。そして、これらの手続きがとられた場合は、遺言書保管所は、他の相続人に対し、遺言書を保管している旨を通知することとされています。

なお、遺言者の生前は、遺言者のみが保管されている遺言書を閲覧することができます。

Q 一度保管の申請をした遺言書を返してもらうことはできますか？

A 遺言者は、遺言書保管所に保管されている遺言書について、保管の申請を撤回することにより、遺言書の返還を受けることができます。また、遺言書が返還されると、その遺言書に関する情報も消去されます。

ただし、これは「保管の撤回」ですので、遺言書自体の撤回にはなりません。遺言書自体を撤回するためには、前の遺言書を撤回するという内容の遺言書か、前の遺言書の内容と矛盾・抵触する内容の遺言書を新たに作る必要があります。またスタート前の新しい制度のため、説明が足

法律相談を募集しています

読者の皆さんの「弁護士に相談したいこと」「障がいの当事者または家族であるが弁護士に聞いてみたいこと」などを法律相談を募集しています。詳細は28ページにある「法律相談募集要項」を参照してください。なお、相談の内容は、個人が特定できない形で回答とともに記事として掲載させていただく場合があります。また、全ての相談に対して回答できるものではないことを、予めご了承ください。

※本募集は一般財団法人メルディアが行うものであり、表参道パートナーズ法律事務所とは直接の関係はありません。

新しい制度なので一緒に確認をしながら記入していきましょう！



りない点もありますが、ポイントだけでも理解していただき、利用者が増えて相続に関するトラブルが減つてもらえればと思います。




表参道パートナーズ法律事務所
東京都港区南青山6-2-9 南青山NYKビル9F <http://omt-partners.jp/>
TEL : 03-6804-3718



履 歴 書

令和元年12月1日現在

ふりがな 氏 名	しのぞき たかつかさ 篠崎 孝司	ローマ字表記 Takatsukasa Shinozaki
昭和26 (1951) 年 8 月 5 日生	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	

出身地 栃木県足利市	受賞歴 日本現代工芸展入選、朝日陶芸展入選
---------------	--------------------------

役職・公職など 芸術家、陶芸家、ルンビニー園美術講師	※役職などは取材時のものです
-------------------------------	----------------

年	月	経 歴
平成元年 (1989)		九州産業大学芸術学部美術科卒
平成5年 (1993)		栃木県足利市に築窯、コンテンポラリー作品を手掛ける (代表作 / Stone Bike)
		日本現代工芸展入選
平成13年 (2001)		朝日陶芸展入選

※編注／一部を割愛させて頂きました

森 障がいのある人たちが持つアーティストとしての才能を感じていたからこそ講師を引き受けたということですか？

篠崎 職員として勤務している頃にも彼らの才能は感じていました。どうかして彼らの作品を世の中の人たちに知ってもらいたい、もっと多くの人に観てもらいたいという気持ちは当時から持っていましたね。

森 これまでにも何度もアート展を開催しているようですが、篠崎 素晴らしい才能が誰にも知られず埋もれてしまうのは勿体ないと感じていました。彼らが世間に発表する手段を持っていない

「障がい者アート」ではなく「作家に障がいがある」だけ

ひと 個人の「歴史」から探る障がい福祉

第8回

芸術家／陶芸家／ルンビニー園美術講師

篠崎 孝司さん

PERSONAL HISTORY



ひと

パーソナルヒストリー

Quality of life

人生の内容や質、社会的観点から見た生活の質は、「どれだけ人間らしい内容の生活を送れるか／送ることができているか」を「QOL(クオリティ・オブ・ライフ)」という尺度で計られることがあります。生活の糧を得るための労働だけではなく、余暇や趣味に費やす時間もQOLの向上には必要だとされています。しかし、障がいのある人たちの中には余暇や趣味に充てる時間がない、そもそもそれらに興ずる機会もないという場合も多いようです。そこで、各地の福祉事業所内では利用者らに就労支援以外の福祉の可能性として「余暇活動支援」を行っているところも増えていきます。古くから障がいのある人たちが内包するアートの才能に着目し、障がいのある人たちが社会参加をする足掛かりとなるよう、彼らに自己表現の機会を提供するという支援を続けるのが今回の主人公となる芸術家の篠崎孝司さん。篠崎さんの履歴を紐解いて障がい者アートの本来あるべき姿を探っていきたいと思います。



募集告知

各種募集と告知

布施博または大矢真那が取材に伺う「訪問先」を募集しています。また、当財団に対するご支援とご協力のお願いを掲載しています。

法律相談を募集 弁護士が相談を承ります

Recruitment

読者の皆さんや障がいの当事者またはご家族の人たちが弁護士に相談したい事、聞いてみたいことなどがありましたら当誌の事務局まで住所、氏名、連絡先、相談概要などをお送りください。本件の法律相談は無料で行います。

【必ずお読みください】

- ※応募に際しての記載事項などは個人情報保護の観点に則り、本件以外には一切使用いたしません。
- ※本誌に掲載させて頂く場合、個人を特定できない匿名の相談内容として記事にいたします。
- ※相談の受任可否についてはお答えすることができません。
- ※全ての相談に対して回答するものではありません。

氏名、連絡先、相談概要などを以下に記載の住所またはメールアドレスまでお送りください。

■応募先/郵送の場合

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア事務局/法律相談係 宛て

■応募先/Eメール

MAIL:org@gf-meldia.com
※件名(Subject:)に必ず「法律相談」とご記入ください

月刊MELDIA常設設置拠点募集

一般財団法人メルディア（以下、当財団）では、広報誌「月刊MELDIA（以下、本誌）」の常設設置拠点を随時募集しています。特に障がいのある人が集まる場所や施設内部など、設置場所のご提供をお願いしています。詳細は当財団の事務局までお問い合わせください。

月刊MELDIA定期購読希望者募集

「月刊MELDIA」はフリーペーパーです。お近くに設置拠点がなく入手が困難な場合や、定期購読をご希望の場合に送料無料で発送しています。定期購読をご希望の場合は当財団事務局までご用命ください。

※定期購読の場合、発送業務に関しては、東京都新宿区内にある福祉事業所の利用者さんたちに依頼して全国に発送しています。

一般財団法人メルディアへのご支援とご協力を募集

障がいのある子供を持つ親の苦労や将来への不安は、他の人には計り知れないほど大きなものがあります。さらに、それが寡婦・寡夫家庭であった場合、経済的な負担、苦労、不安なども一人で背負わねばならない状況に置かれることもあります。

私たち「一般財団法人メルディア」は、会報誌「月刊メルディア」を通じて、誌上に厳選した有益な情報を掲載することで、周囲との情報交換もままならず不安を抱える人たちの情報源として、その一助となることを目指しています。

私たち「一般財団法人メルディア」の活動に対するご支援（取材協力・協業の相談・各種支援・支援金・寄付）など、当財団の趣旨に賛同してご協力を頂ける企業・団体・個人を募集しています。下記にある当財団の事務局までご相談ください。

お問い合わせとご相談はこちら 一般財団法人メルディア

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア 事務局/担当:後藤(ごとう)・鷺坂(さぎさか)宛て
TEL:03-5381-3213 / MAIL:org@gf-meldia.com



ホームページと Facebook

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報、取材の裏話など、情報が盛りだくさん！ Facebook ページのご用意もあります。是非とも一度、ご覧ください。



MELDIA <https://meldia.org/>

facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



PERSONAL HISTORY

ルンビニー園美術講師/篠崎孝司

PERSONAL HISTORY



のであれば、私がその手伝いをしなければならぬと思いましたが、森 障がいのある人たちのアートを観させてもらいましたが、他のアーティストさんたちにも歩も引けを取らない作品ばかりですね。篠崎 いや、まずそこが皆さんが勘違いされているところなんです。決して、「障がいのある人のアート」ではなく、「作家に障がいがある」と理解して欲しいですね。森 言われてみれば、確かにそうですね。篠崎 「障がいのある人が創作したアート」という先入観を外して、純粋に作品を観て欲しいということ、どのアート展でも「障がい」という言葉を敢えて使わないようにしています。観覧する人たちに聞かれてから初めて、「この作家には障がいがあるんです」と説明しています。

森 捉え方というか観点を改めて純粋に作品として観賞して欲しいということですか？篠崎 「障がいがあるのに頑張っている」だとか、そういう加点は必要ないんです。それくらいアートとしての完成度は高いと思います。森 「障がい」というフィルターを通さずに評価して欲しいということですね。篠崎 私も含めた他の作家と彼らが異なるのは、創作意欲の根源となる部分からです。普通の作家は、「自己表現の手段として」「作品を観てもらいたい」だとか「作品を通して何かを訴えたい」という人が殆どはなはず。でも、彼らには元からそういう承認欲求のようなものが全くない。森 篠崎さん自身がアーティストだからこその分ける部分ですね。篠崎 作家は作品の評価や対価のことまで考え



社会福祉法人善隣学園
ルンビニー園
栃木県足利市榊崎町1706
TEL / 0284-41-5622
<http://park17.wakwak.com/~zenringakuen/>



取材・文/森清香

て創作することが多いんですね。そうすると、純粋に描きたいものや作りたいものを創れなくなるんです。森 彼らの創作にはそういう制限のようなものがないと？篠崎 同じ作家としては羨ましさを感じざるを得ないですね。「作りたいものを作りたい時に自由に作る」作家なんていませんから。彼らの作品を多くの人に知ってもらうために、会場を用意して、額装をして、展示をしてあげる。このアート展は、いわば彼らと私との作家同士のコラボレーション展でもあるんです。

※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

劇団メルディア が結成されました

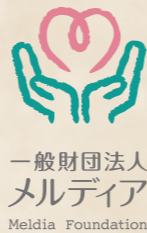


一般財団法人メルディアの評議員でもある俳優・布施博が全面的にプロデュースする「劇団メルディア」が結成されました。実力派俳優・布施博を中心として、舞台などで活躍する布施の愛弟子の俳優らが出演する演劇を無料でご覧になれます。首都圏内にある障がい者施設や社会福祉系事業所、障がいのある人たちを雇用する企業、障がいのある人たちが活躍する団体などに「劇団メルディア」が赴き、オリジナルの演劇などを披露いたします。

劇団メルディアの訪問&演劇披露を希望される場合は下記のあて先までご連絡ください。

【お問い合わせとご相談はこちら】

〒163-0632 東京都新宿区西新宿 1-28-1 新宿センタービル 32F
一般財団法人メルディア事務局



一般財団法人
メルディア
Meldia Foundation

TEL ▶ 03-5381-3213

MAIL ▶ org@gf-meldia.com

メールでのお問い合わせまたはご相談の場合は
件名(subject)に「劇団メルディア」とご入力ください

必ずお読み
ください

- 首都圏(関東1都6県)であれば訪問が可能です。※他の地域への訪問は承っておりません
- 費用などは一切発生しません。※一般財団法人メルディアが負担します
- 演劇を披露するスペースなどの都合によりお断りする場合があります。
- 日程などについてはご希望に添いかねる場合があります。
- 出演する俳優などのご希望にはお応え出来かねます。
- 不明の点などは一般財団法人メルディア事務局(担当:後藤・鷺坂)までご相談&お問い合わせください。

26 MELDIA CONTENTS 2020 FEB.

01| 障がい者を応援

ラ・セーヌ ドゥ・レーヴ / 群馬県前橋市

06| 一般財団法人メルディアとは?

メルディアの基本理念、財団概要、支援事業

07| 布施博が訊く

株式会社エスプールプラス / 東京都千代田区

11| 福祉事業所探訪

社会就労センターぴいす / 群馬県前橋市

15| 水越けいこ連載「M size / はじまり」

水越けいこが愛息・レイくんとの日々を綴る

17| 障がいのある子らのミュージカル劇団

WAKU2ミュージカルカンパニー / 神奈川県横浜市

21| つむぐ

障がい者の支援をする人たち

23| 弁護士が教える「障がい者と法律」

表参道パートナーズ法律事務所 / 弁護士・安部晃平

25| ひと - PERSONAL HISTORY -

芸術家・陶芸家・ルンビニー園美術講師 / 篠崎孝司さん

28| 募集と告知

各種募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ

30| 劇団メルディア

劇団メルディア結成のお知らせと公演先募集

月刊 MELDIA Vol.26 / 2019年12月25日発行

発行元 / 一般財団法人メルディア事務局

発行人 / 小池信三

事務局 / 榎本喜明、後藤正善、鷺坂浩章

編集 / 株式会社 サン・オフィス

編集人 / 東宮恵美

編集長 / 山口慎市

進行 / 谷田貝亘介

編集部 / 村田保則

ライター / 水越けいこ、布施博、大矢真那、安部晃平、渡邊希望、大橋はるか、森清香、中野優希

カメラマン / 吉岡晋(PMJ)

ヘアメイク / 株式会社Dharma

デザイン / 有限会社 フレッシュャー・アド

印刷製本 / QREAS株式会社

協力 / MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計、ラ・セーヌ ドゥ・レーヴ、ワークハウスドリーム、社会福祉法人一越会、株式会社エスプールプラス、社会就労センターぴいす、社会福祉法人すてっぷ、公立大学法人 群馬県立女子大学、WAKU2ミュージカルカンパニー、椎名みゆき、史桜、今泉リス、社会福祉法人善隣学園、ルンビニー園、篠崎孝司、表参道パートナーズ法律事務所、株式会社TDPミュージックパブリッシャーズ、株式会社PHOTO MIO JAPAN、株式会社Dharma

※敬称略 / 順不同

本誌の無断転載・複製を禁じます

2017-2020©All Rights Reserved. 一般財団法人メルディア / 月刊 MELDIA
MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計 / 株式会社 サン・オフィス

次号予告

MELDIA VOL.27

2020年1月25日 発行予定

一般財団法人メルディア

〒163-0632
東京都新宿区西新宿 1-25-1
新宿センタービル 32F

一般財団法人メルディア事務局

TEL: 03-5381-3213

MAIL: org@gf-meldia.com



一般財団法人
メルディア
Meldia Foundation